

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 インテージホールディングス  
コード番号 4326 URL <http://www.intageholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮首 賢治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池谷 憲司

TEL 03-5294-7411

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	21,448	5.4	1,373	4.1	1,370	2.7	914	29.8
28年3月期第2四半期	20,343	5.2	1,319	0.1	1,333	6.2	704	△66.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 798百万円 (△0.9%) 28年3月期第2四半期 806百万円 (△61.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	45.79	—
28年3月期第2四半期	35.30	—

(注) 1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	35,754	21,515	59.7
28年3月期	36,830	21,338	57.5

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 21,361百万円 28年3月期 21,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	32.50	32.50
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	5.5	4,200	8.2	4,250	7.7	2,650	13.9	132.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	20,118,000 株	28年3月期	20,118,000 株
29年3月期2Q	149,517 株	28年3月期	156,128 株
29年3月期2Q	19,964,954 株	28年3月期2Q	19,960,048 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日）におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策を背景に個人消費は底堅い動きとなっており、また企業収益は改善に足踏みが見られるものの高い水準で推移し、全体として緩やかな回復基調となりました。

一方海外経済は緩やかに回復しているものの、中国をはじめとするアジア新興国経済の先行きや、英国のEU離脱問題に伴う先行き不透明感の高まりによる金融資本市場の変動等が懸念されるなど、不安定な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高21,448百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益1,373百万円（同4.1%増）、経常利益1,370百万円（同2.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は914百万円（同29.8%増）となりました。

事業分野別の状況は次のとおりであります。

#### ① マーケティング支援（消費財・サービス）事業

マーケティング支援（消費財・サービス）事業は、カスタムリサーチの既存調査及びインターネット調査が好調に推移したことなどにより、増収増益となりました。

この結果、マーケティング支援（消費財・サービス）事業の連結業績は、売上高13,828百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益542百万円（同18.0%増）となりました。

#### ② マーケティング支援（ヘルスケア）事業

マーケティング支援（ヘルスケア）事業は、株式会社アスクレップにおける医薬品の製造販売後調査や、株式会社アンテリオにおけるカスタムリサーチの既存調査及びプロモーション活動の評価サービスが引き続き好調に推移したことなどにより、増収増益となりました。

この結果、マーケティング支援（ヘルスケア）事業の連結業績は、売上高5,098百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は715百万円（同1.2%増）となりました。

#### ③ ビジネスインテリジェンス事業

ビジネスインテリジェンス事業は、ヘルスケアに関する案件の受注が堅調に推移したものの、AIを活用した新規事業投資が増加したことなどにより、増収減益となりました。

この結果、ビジネスインテリジェンス事業の連結業績は、売上高2,521百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益115百万円（同24.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,343百万円減少し、22,930百万円となりました。これは、仕掛品が1,107百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が2,329百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ267百万円増加し、12,823百万円となりました。これは、投資有価証券が443百万円、退職給付に係る資産が117百万円増加したものの、建物及び構築物（純額）が109百万円、リース資産（純額）が105百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は1,075百万円減少し、35,754百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,185百万円減少し、10,700百万円となりました。これは、買掛金が320百万円、未払法人税等が450百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ66百万円減少し、3,539百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が26百万円増加したものの、リース債務が97百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は1,252百万円減少し、14,239百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ176百万円増加し、21,515百万円となりました。これは、為替勘定調整勘定が210百万円減少したものの、利益剰余金が260百万円、その他有価証券評価差額金が127百万円増加したことなどによるものです。

### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動にて2,073百万円獲得し、投資活動にて1,038百万円、財務活動にて756百万円使用した結果、前連結会計年度末に比べ134百万円増加し、9,947百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は2,073百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ2,842百万円の収入増加となりました。これは、売上債権の減少額の増加や未払消費税等の減少額の減少などによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は△1,038百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ370百万円の支出増加となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は△756百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ59百万円の支出減少となりました。これは、短期借入金の返済による支出が増加したものの、短期借入れによる収入が発生したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日付「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

当社及び連結子会社は、税金費用については、当第2四半期連結会期期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (税制改正に係る減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

#### (税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用したことから、四半期決算に迅速かつ効率的に対応するため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,823,074	9,993,886
受取手形及び売掛金	10,640,278	8,311,110
仕掛品	1,240,768	2,348,578
貯蔵品	49,388	81,671
繰延税金資産	1,102,337	1,154,003
その他	1,423,208	1,044,975
貸倒引当金	△5,529	△3,749
流動資産合計	24,273,526	22,930,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,792,241	1,682,580
器具備品(純額)	390,307	349,184
土地	1,998,156	1,998,156
リース資産(純額)	786,053	680,437
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	4,966,758	4,710,358
無形固定資産		
のれん	336,189	263,017
その他	1,520,979	1,570,939
無形固定資産合計	1,857,169	1,833,956
投資その他の資産		
投資有価証券	2,211,178	2,654,264
繰延税金資産	755,102	689,989
退職給付に係る資産	1,296,852	1,414,683
その他	1,469,868	1,520,848
貸倒引当金	△298	△298
投資その他の資産合計	5,732,703	6,279,487
固定資産合計	12,556,631	12,823,802
資産合計	36,830,158	35,754,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,693,644	2,373,381
短期借入金	2,354,654	2,376,265
リース債務	307,607	291,430
未払法人税等	1,147,603	696,776
賞与引当金	1,640,443	1,739,916
ポイント引当金	1,113,075	1,196,957
役員賞与引当金	10,500	6,756
株式給付引当金	1,969	—
その他	2,616,366	2,018,523
流動負債合計	11,885,865	10,700,006
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
リース債務	555,935	458,380
株式給付引当金	49,674	48,499
退職給付に係る負債	2,797,218	2,823,510
その他	3,250	8,821
固定負債合計	3,606,078	3,539,212
負債合計	15,491,944	14,239,218
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,681,400	1,681,400
資本剰余金	1,336,688	1,336,599
利益剰余金	17,433,240	17,693,831
自己株式	△216,441	△207,150
株主資本合計	20,234,886	20,504,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	284,158	412,008
為替換算調整勘定	464,569	253,829
退職給付に係る調整累計額	179,378	191,051
その他の包括利益累計額合計	928,106	856,889
非支配株主持分	175,220	153,490
純資産合計	21,338,213	21,515,060
負債純資産合計	36,830,158	35,754,278



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	20,343,945	21,448,361
売上原価	15,176,714	15,674,476
売上総利益	5,167,231	5,773,885
販売費及び一般管理費	3,847,960	4,400,540
営業利益	1,319,271	1,373,345
営業外収益		
受取利息	3,844	1,673
受取配当金	33,820	38,858
持分法による投資利益	—	1,055
その他	18,437	10,389
営業外収益合計	56,102	51,977
営業外費用		
支払利息	7,296	15,549
持分法による投資損失	24,471	—
為替差損	2,263	27,097
その他	7,876	12,627
営業外費用合計	41,907	55,274
経常利益	1,333,465	1,370,049
特別損失		
関係会社株式評価損	122,641	—
特別損失合計	122,641	—
税金等調整前四半期純利益	1,210,823	1,370,049
法人税等	516,713	477,569
四半期純利益	694,110	892,479
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,411	△21,780
親会社株主に帰属する四半期純利益	704,521	914,260

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	694,110	892,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,938	127,850
為替換算調整勘定	20,101	△233,174
退職給付に係る調整額	1,962	11,672
その他の包括利益合計	112,003	△93,651
四半期包括利益	806,113	798,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	817,759	843,043
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,645	△44,215

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,210,823	1,370,049
減価償却費	689,659	699,049
のれん償却額	47,315	42,875
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△166,134	△117,830
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,603	27,871
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,000	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	150,085	101,194
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△744	△3,744
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,627	△1,616
ポイント引当金の増減額(△は減少)	102,391	83,881
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△3,932	△3,144
受取利息及び受取配当金	△37,665	△40,532
持分法による投資損益(△は益)	24,471	△1,055
支払利息	7,296	15,549
関係会社株式評価損	122,641	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,395,685	2,365,478
たな卸資産の増減額(△は増加)	△972,501	△1,160,109
仕入債務の増減額(△は減少)	△272,073	△310,878
未払消費税等の増減額(△は減少)	△865,058	△182,366
その他	△239,428	544,998
小計	1,174,601	3,429,669
利息及び配当金の受取額	37,767	40,464
利息の支払額	△7,296	△15,482
法人税等の支払額	△1,974,095	△1,381,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	△769,021	2,073,132

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△9,472	△40,226
定期預金の払戻による収入	9,480	—
有形固定資産の取得による支出	△79,876	△414,192
無形固定資産の取得による支出	△350,985	△284,065
投資有価証券の取得による支出	△105,526	△262,541
貸付けによる支出	—	△23,050
貸付金の回収による収入	1,755	445
差入保証金の差入による支出	△165,111	△19,635
差入保証金の回収による収入	28,132	5,335
その他	3,580	△185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△668,023	△1,038,116
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	2,033,230
短期借入金の返済による支出	△57,513	△2,000,000
非支配株主からの払込みによる収入	—	22,831
リース債務の返済による支出	△163,894	△160,389
自己株式の取得による支出	—	△65
配当金の支払額	△594,792	△652,007
非支配株主への配当金の支払額	—	△434
財務活動によるキャッシュ・フロー	△816,199	△756,836
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,800	△143,275
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,242,444	134,904
現金及び現金同等物の期首残高	8,366,377	9,812,498
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△3,131	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,120,801	9,947,402

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	13,282,662	4,568,562	2,492,720	20,343,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	13,282,662	4,568,562	2,492,720	20,343,945
セグメント利益	459,366	706,850	153,053	1,319,271

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	13,828,550	5,098,508	2,521,303	21,448,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	13,828,550	5,098,508	2,521,303	21,448,361
セグメント利益	542,234	715,162	115,948	1,373,345

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。